



2002-2003 年度国際テーマ
RI会長 ビチャイ・ラタクル
第2640地区ガバナー 小島 哲



海南東ロータリークラブ Kainan East Rotary

DISTRICT 2640 CLUB WEEKLY BULLETIN

第1299回例会 15年1月20日(月)

12時30分 於 海南商工会議所4F

1. 開会点鐘 宇恵 弘純会長
2. ロータリーソング 「我等の生業」
四つのテスト 唱和

3. 出席報告
会員総数72名 出席者数50名 出席免除会員2名
出席率71.43% 前回修正出席率100%

4. 会長スピーチ 会長 宇恵 弘純

皆さん、今日は毎日大変寒い日が続いていますが、お風邪を引かないようお気を付けて下さい。

ゲストの和歌山県教育委員会の教育長、小関洋治様ご苦労様です後程、教育内題等について詳しくお話しして頂きます。

去る1月7日の新年夫婦例会、楽しく親睦を深めていただくことが、

出来たでしょうか、又、夫婦例会を開催するにあたり、親睦委員会の上芝委員長をはじめ、委員の皆様、本当にご苦労様でございました。有難うございました。さて、2002.12.6にWCSプロジェクトとしてフィリピンのマダウエイスト・RCへ海南西、海南東、両クラブで¥432,000振込みました。その礼状が花田さん通じてクラブに届いています。紹介させていただきます。

先日送金して頂きましたWCS基金、フィリピンマダウエ東RCより受領御礼と現在の進行状況につき報告のメールがありましたので連絡させていただきます。

(1) 給水プロジェクト

この給水配管施設により恩恵を受ける4地区リーダーと社会奉仕の実行委員会が12月17日に会合を待ち、安全な飲み水が得られる事により病気から開放され健康を維持でき家族の負担が少なくなるのが最大のポイントであることを確認しあった。

支援頂いた基金により既に配管材料と水処理装置

の発注が終わっており、あなた方が訪問される時には竣工式を行える予定である。

(2) ビタミンAプロジェクト

対称となっている貧しい地区へのビタミンA供給と教育の査定は12月14日に終わり、27日には25-30家族に対し教育プログラムを実施する。この家族グループは自分達で下部組織を造り後々このプロジェクトを支えて行くことになる。この地区にはクリニックも医者もいないので、医学生にサポートしてもらってこのプロジェクトを進めていくつもりである。

(3) 生活改善プロジェクト

基金の受け渡しは12月18日に完了した。授与式の写真を添付。支援先はフランスシスターズ孤児院で、ホームレスの浮浪児や孤児達を収容している所。収容者は全て女の子で、なぜかと云うと男の子はまだ強く自分の身を守れるが、女の子はすぐに誘惑されてしまうからである。この孤児院は信者の寄付により運営されている。孤児達の信仰心と道徳心を高めることを目的としている。寄付は自分の子供達を学校に出せる一般の家庭の人達から募られている。これにより教材や衣類や食事をまかなっている。現在この孤児院には3-15才までの女の子が26人住んでいる。彼女等はここを出てから職にありつけるよう、技術を身につけるためのトレーニングも行われている。今回支援頂いた基金はトレーニング用のモールドとその材料費に当てられ、モールドより造られた人形は販売されて孤児院の運営費に当てられる。

ここにもう一度、あなた達の暖かい支援に対し心から感謝いたします。

マダウエイストロータリークラブに

2003年1月30日から 花田、林、奥村、田村健治、寺下の5名が訪問します。

5. 幹事報告

メーキャップ

和歌山西RC 中尾公彦君 1/8
海南 RC 中村雅行君 1/15
和歌山南RC 中尾公彦君 1/17

例会臨時変更のお知らせ

和歌山西RC 2月12日(水)

四つのテスト

真実かどうか 好意と友情を深められるか
みんなに公平か みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：宇恵弘純 幹事：小椋孝一 SAA：土岐啓次郎

6. 委員会報告

広報委員会 新垣勝委員長

ロータリーの友は50周年になります。是非お読み下さい。

社会奉仕委員会 花畑重靖委員長

JR海南駅の本棚の本が少なくなっています。お持ち下さい。2月10日例会終了後社会奉仕委員会を開きます。

7. ゲスト卓話

和歌山県教育委員会 委員長 小関洋治さん



「和歌山県の教育改革について」

私は昭和17年に山形県に生まれました。昭和40年に東京教育大学を卒業し、長い間海南高校で教鞭をとりました。和歌山に来て37年になり知人も多く出来、御陰様で還暦を迎えました。大体、高校や中学でも閉鎖性があり、そして他の学校とは同じ様にするのが無難だという考え方が主流を占めて来ました。従って入試テストも大かた同一レベルにした学校が殆どでありました。併しその様な画一的な教育行政から信頼を得られる方法に切り換えるべく、考えるようになって来ました。和歌山でも中高一貫教育から小中一貫教育という事も考えて居ります。最近では、例えば学校間で相互に生徒が受講出来る様になりました。A高校・B高校・C高校の間で、語学やコンピューター、商業関係の課目を各々希望科目勉強を他校へ出向いて学べる様になって居ります。その中でも典型的な例として、和高校とろう学校との相互学習があります。それは約50人位の生徒が出向いて手話等に大変関心を示し習って居ります。又中学と高校との連携も行われ、新宮高校へ6~7中学から生徒が受講し、それを単位として認める事をして居ります。そして先生も相互に他校へ行くという事を実施して居ります。其の他の例としても竜神村では竜神高校へ3つの中学校から受講に行っており、古座地区では5中学が国の認定を受けて実施しています。学校の種類の壁を低くして中高一貫教育を全国的に我が県で先がけて居ります。小学校中学校は義務教育で、その地区ですぐ近くにあり乍ら各々行き来がありません。元々日頃から別々で交渉も少ないのですが、相互に連絡を取り

合う様市内では7月から5地区で始めました。地元では大学が少ないが高校生が大学で受講すべく連携をする様に協議会も作りました。その受講で高校生は高校での単位は認める様しました。和大は栄谷という少し遠いところにありますが、16時30分~19時迄という悪条件でも60人の熱心な受講の高校生が年度途中にも拘わらず多かったのであります。



その様に勉学への向上心のある生徒が居て大学も喜びを感じて居ります。又他府県では大阪大学と北野高校や、埼玉大学と浦和高校でも小規模乍ら行われて居ます。学校は連携しそれぞれの学校できちっとして教育して行くという事で昨年から入試を和歌山では自校で作成して良い事になりました。そして桐蔭・向陽・有田その他星林・耐久など8高校が実施しました。選抜制度拡大では全国五位であり、県では長期休暇(春、夏、冬)の日数も変更が可能と致しました。それらは高校校長認可で良いと云う事になりました。(最大限10日)養護学校の生徒や家族の事を考慮して夏休み日数を短縮し家庭負担を少なくし、教育サービスを考え、自助努力をして行く様方向づけしています。

8. 次週例会

平成15年1月27日 海南商工会議所4F

9. 閉会の点鐘

*** ニコニコ・米山・BOX ***

- 辻 秀輝君 新年夫婦例会 急患で欠席しました。お正月 三峽下りに行ってきました。
- 塩崎博司君 元旦祭、初戎無事務めることができました。小関先生よくおい出いただきました。小関先生、卓話ありがとうございます。
- 吉田昌生君 同上
- 小椋孝一君 新年夫婦例会 親睦委員会の皆様ご苦労様でした。
- 宇恵弘純君 ウォーキング始めて10年になります。20,000km歩きました。
- 楠部賢計君 新年夫婦例会 会社の旅行のため欠席しました。
- 寺下 卓君